

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【公開番号】特開2015-72685(P2015-72685A)

【公開日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-025

【出願番号】特願2014-192265(P2014-192265)

【国際特許分類】

G 06 Q 40/04 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 40/04 100

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月13日(2017.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の金融メッセージの複数の市場参加者へのネットワークを介した通信を管理するためのコンピュータ実施型の方法であって、当該複数の金融メッセージが、前記複数の市場参加者のうちの第1の市場参加者によって受信され読み解されることを意図した第1の市場データを含んでいる第1の金融メッセージと、前記第1の金融メッセージに対応していて、前記複数の市場参加者全てによって受信され読み解されることを意図した第2の市場データを含んでいる第2の金融メッセージと、を含んでいる、複数の金融メッセージの複数の市場参加者への、ネットワークを介した通信を管理するためのコンピュータ実施型の方法において、

プロセッサによって、前記第1の金融メッセージの前記第1の市場データの少なくとも一部分を難読化する段階であって、前記第1の市場データの前記難読化された部分が、前記第1の市場参加者にとって、当該難読化されたデータを読み解可能にするように構成された関連付けられたキーデータ無しには読み解不能になるようにする、難読化する段階と、

前記プロセッサによって、前記第1の金融メッセージに対応する前記第2の金融メッセージを、前記関連付けられたキーデータで拡張する段階と、

前記プロセッサによって、前記ネットワークを介して、前記難読化された第1の金融メッセージを前記第1の市場参加者へ、そして前記第2の金融メッセージを前記複数の市場参加者へ、送信する段階と、を備えているコンピュータ実施型の方法。

【請求項2】

前記第1の金融メッセージの前記第1の市場データの少なくとも一部分を難読化する段階は、暗号化アルゴリズムを使用して可読平文を不可読暗号文へ変換する段階を備えている、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項3】

前記関連付けられたキーデータは、強引な解読の企てを、前記第1の金融メッセージの受信と前記第2の金融メッセージの前記複数の市場参加者のうちの少なくとも1人による受信の間の遅延であると決定された時間の長さに亘って食い止めるサイズの暗号化暗号を含む、請求項2に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項4】

前記第1の金融メッセージの前記第1の市場データの全てが難読化される、請求項1に

記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 5】

前記第1の金融メッセージは、前記第1の市場参加者から前に受信されているメッセージへ応えたものである、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 6】

前記第2の金融メッセージの前記拡張する段階は、前記第2の金融メッセージを、当該第2の金融メッセージ中の前記関連付けられたキーデータを前記第1の金融メッセージとリンクさせる識別データを含めるように拡張する段階、を更に備えている、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 7】

前記第1の金融メッセージの一部分は、難読化されておらず、前記第2の金融メッセージ中に保有される識別データを指し示すデータを含む、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 8】

前記関連付けられたキーデータは、前記第1の金融メッセージとの関連付けを指し示す識別子を含む、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 9】

前記第2の金融メッセージは、複数のキーを指し示すデータを更に含む、請求項8に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 10】

前記第1の金融メッセージは、確認メッセージ、更新メッセージ、拒絶メッセージ、又はそれらの組合せ、を含む、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 11】

難読化されたデータを読み解可能にさせるように構成されていない少なくとも1つの擬製キーを含む第3のメッセージを生成する段階と、前記第3のメッセージを前記複数の市場参加者へ送信する段階と、を更に備えている、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 12】

前記第1の金融メッセージ及び前記第2の金融メッセージは、同じ市場活動に対応して生成されるメッセージペアである、請求項1に記載のコンピュータ実施型の方法。

【請求項 13】

複数の金融メッセージの複数の市場参加者へのネットワークを介した通信を管理するためのシステムであって、当該複数の金融メッセージが、前記複数の市場参加者のうちの第1の市場参加者によって受信され読み解されることを意図したデータを含んでいる第1の金融メッセージと、前記第1の金融メッセージに対応していて、前記複数の市場参加者全てを対象としたデータを含んでいる第2の金融メッセージと、を含んでいる、複数の金融メッセージの複数の市場参加者へのネットワークを介した通信を管理するためのシステムにおいて、

メモリに記憶されていて、プロセッサによって実行されると、当該プロセッサに、前記第1の金融メッセージの少なくとも一部分を難読化して、前記第1の金融メッセージの前記難読化された部分が、前記第1の市場参加者にとって読み解可能にするように構成された関連付けられたキーデータ無しには読み解不能にするように構成されている第1のロジックと、

前記メモリに記憶されていて、プロセッサによって実行されると、当該プロセッサに、前記関連付けられたキーデータを含む前記第2の金融メッセージを生成するように構成されている第2のロジックと、

メモリに記憶されていて、プロセッサによって実行されると、当該プロセッサに、ネットワークを介して、前記第1の金融メッセージを前記第1の市場参加者へ送信するように構成されている第3のロジックと、

前記メモリに記憶されていて、プロセッサによって実行されると、当該プロセッサに、

ネットワークを介して、前記第2の金融メッセージを前記複数の市場参加者へ送信させるように構成されている第4のロジックと、を備えているシステム。

【請求項14】

前記第1の金融メッセージの少なくとも前記一部分を難読化するように構成されている前記第1のロジックは、暗号化アルゴリズムを使用して可読平文を不可読暗号文へ変換する段階を備えている、請求項13に記載のシステム。

【請求項15】

前記暗号化アルゴリズムは、対称キーアルゴリズム又は非対称キーアルゴリズムである、請求項14に記載のシステム。

【請求項16】

前記関連付けられたキーデータは、強引な解読の企てを、前記第1の金融メッセージの前記特定の市場参加者による受信と前記第2の金融メッセージの前記複数の市場参加者のうちの少なくとも1人の市場参加者による受信との間の遅延時間であると決定された時間の長さに亘って食い止めるサイズの暗号化暗号である、請求項14に記載のシステム。

【請求項17】

前記第2の金融メッセージを生成するように構成されている前記第2のロジックは、前記第2の金融メッセージを、当該第2の金融メッセージ中の前記復号キーを前記第1の金融メッセージと関連付けるために前記第1の市場参加者によって認識可能な識別データで拡張する段階を備えている、請求項13に記載のシステム。

【請求項18】

前記関連付けられた復号キーは、前記第1の金融メッセージとの関連付けを指示する識別子を含む、請求項13に記載のシステム。

【請求項19】

前記第2の金融メッセージは、複数の復号キーを指示するデータを含む、請求項18に記載のシステム。

【請求項20】

前記第1の金融メッセージは、確認メッセージ、更新メッセージ、拒絶メッセージ、又はそれらの組合せ、を含む、請求項13に記載のシステム。

【請求項21】

前記メモリに記憶されていて、プロセッサによって実行されると、メッセージを復号する機能の無い擬製キーを備える第3のメッセージを生成させるように構成されている第5のロジックを更に備えている、請求項13に記載のシステム。

【請求項22】

前記第1の金融メッセージは、前記第1の市場参加者によって提出された前のメッセージへ応えて生成される、請求項13に記載のシステム。

【請求項23】

複数の市場参加者への複数のメッセージを生成するためのシステムであって、前記複数のメッセージが、第1の市場参加者によって受信され読み解されることを意図したデータを含む第1のメッセージと、前記第1のメッセージに対応しているが前記第1の市場参加者を指示する表示を含んでいない第2のメッセージと、を含んでいる、複数の市場参加者への複数のメッセージを生成するためのシステムにおいて、

少なくとも一部分が難読化されていて、当該難読化された部分を前記第1の市場参加者にとって読み解可能にさせるように構成されている関連付けられたキーデータ無しには当該難読化された部分が読み解不能になっている第1のメッセージ、及び前記関連付けられたキーデータを備える前記第2のメッセージを生成するように構成されているメッセージ生成部と、

前記第1のメッセージを前記第1の市場参加者へ、そして前記第2のメッセージを前記複数の市場参加者へ、送信するように構成されているメッセージ送信部と、を備えているシステム。

【請求項24】

複数の金融メッセージの複数の市場参加者へのネットワークを介した通信を管理するためのシステムであって、当該複数の金融メッセージが、前記複数の市場参加者のうちの第1の市場参加者によって受信され読解されることを意図したデータを含んでいる第1の金融メッセージと、前記第1の金融メッセージに対応していて、前記複数の市場参加者全てを対象としたデータを含んでいる第2の金融メッセージと、を含んでいる、複数の金融メッセージの複数の市場参加者へのネットワークを介した通信を管理するためのシステムにおいて、

前記第1の金融メッセージの少なくとも一部分を難読化するための手段であって、前記第1の金融メッセージの前記難読化された部分が、当該難読化された部分を前記第1の市場参加者にとって読解可能にさせるように構成されている関連付けられたキーデータ無しには読解不能であるようにするための手段と、

前記関連付けられたキーデータを含む前記第2の金融メッセージを生成するための手段と、

前記第1の金融メッセージを前記第1の市場参加者へ送信するための手段と、

前記第2の金融メッセージを前記複数の市場参加者へ送信するための手段と、を備えているシステム。